

第26回 BIRD 脳科学セミナー

自閉スペクトラム症における 視知覚異常の脳内メカニズム

演者：山崎 貴男 先生

九州大学大学院 医学研究院 脳神経病研究施設
臨床神経生理学教室

2020年3月25日(水) 16:30~18:00
野田キャンパス 2号館2階 機械工学科会議室

自閉スペクトラム症(ASD)では視覚情報に対して知覚過敏や知覚鈍麻がみられ、それらの知覚異常がASDの社会性障害の基礎である可能性が指摘されています。しかし、2000年代になっても、その脳内メカニズムはほとんど分かっていませんでした。そこで我々は誘発脳波や拡散テンソルMRIを用いて、ASDの視覚認知に関する研究をここ10年継続的に行い、一連の研究成果及び文献的考察から、ASDで生じている視覚ネットワーク異常に関する新しいモデルを発表しました(Yamasaki et al., 2017)。それは、ASDの病態は単一の脳領域の障害ではなく、複数の脳領域間の複雑な機能的・構造的な脳内ネットワークの障害が本質であることを示し、ASDは「コネクトパチー」であるという新しい疾患概念です。本セミナーでは、我々がこれまで行ってきたASDの視覚認知に関する誘発脳波研究を中心に紹介します。

本セミナーは学部生、大学院生の聴講を歓迎します

主催：脳学際研究部門 (Brain Interdisciplinary Research Division)

東京理科大学における脳研究の学際的な連携基盤の構築を目指し2016年度に発足。
学内の理一・工一・基礎工・理工・薬・生命研および学外の研究機関から構成される。

世話人：理工学部 教養 市川寛子 (野 3036) ichi@rs.tus.ac.jp

